



杉並区立井荻小学校

平成25年7月1日発行

No.540

「命」を考える

教務主任 住谷陽子

杉並区では6月は「命の月間」としています。本校でも、学校公開の日に朝の「読み聞かせ」で命にかかわる本を読んでいただいたり、命を考える授業を設定したりしました。

「命を考える授業」として低学年では小動物とのふれあい、中学年では障害を通して、高学年では人の生き方に学ぶような内容を設定し、外部の方の協力を得て、授業を行いました。今回はその中から4年生の「命の記録」の授業について紹介します。

「命の記録」は、3歳で発病し25歳でなくなられた女の子とそのお母さんの記録です。病気になり、手術をしても歩けるようにはならず、車椅子生活であるにもかかわらず何事にも前向きで笑顔を忘れない生き方を貫いたまみさんとそれを支え続けたお母さんのお話は、大人も子どもも多くの人々の胸をうちました。

子どもたちの声を少し紹介します。「命がどれだけ大事かを実感した。自分だったら笑顔でなんかいられない。」「病気になるのに自分がやりたいことはなんでも挑戦していてすごい。」「あきらめないまみさんはすごい。」とまみさんのすばらしさを感じ取っている子、「やりたいことは何でもやらせてあげようとしているお母さんは優しい。」中には「娘があんなに若くて病気になって親としてどんなに苦しかったらう。」と、お母さんのつらさに思いを寄せている子もいました。「思い出があるから生きていけるんだらうな。」「まみさんは自分で正しいと思う道を進んできたから、たとえ人生は短くてもいい人生だったと思う。」と真剣に生きることの大切さにも気づいてくれていました。大人の方々からも「今の自分と重ねて幸せを実感したり、もっとがんばって生きなきゃと感じたりしました。」「精一杯生きたまみさんと、それを支えたお母さんに思いをはせ、自分の生き方を見つめなおして生きたい。」といったうれしい感想をいただきました。

淡々と今までの25年間を語ってくださったお話に共に涙した私たちの感動はなんだったのか。それは、

「どんな命もかけがえのない大切なものである」という事実をしっかり向き合わせていただいたことではなかったかと思います。大人も子どもも「生きているのは当たり前」と知らず知らずのうちに思い込み、「一生懸命生きる」ことをないがしろにしていることに気づかされた気がするのです。そのことは、自分の命を粗末にするだけでなく、一生懸命生きている人の気持ちも理解しないで踏みにじることにつながるのではないのでしょうか。

学校公開の日、おうちの方がんばっている姿を見せたくてどの子も真剣に学習していました。当然理解も良くでき、どの子も満足そうに眼が輝いていました。お家に帰って大好きなお家の方にほめてもらえばその満足感は何倍にもふくらんだことでしょう。いい加減に過ごしているとき、実はどの子もそんな自分を好きにはなれないでいます。やらなければいけないことは叱ってでもきちんとやらせること、これは大事な愛情だと思っています。がんばってやったらできた、そしてほめてもらった。こんな経験をたくさん積んでほしいと思っています。

また逆に、一生懸命やっているけれどうまくいかなくて悩んでいることもあります。子どもだけでなく、育てる大人の立場でもそういうことがあります。そこにはしっかり寄り添ってあげたいですよ。できているかいないかの結果ではなく、どうしようとしているのか。そこに眼を向けたいものです。

「命を大切にすることから一歩進んで「命を大切に生きる」ってどうすること？」を考え、「今をしっかりと生きる」私たちでいたいと思います。本当の幸せはそこにあるのではないのでしょうか。

最後にまみさんのお母さんは「悪口は心を滅ぼす」こと、「心はどんなにお金を積んでも買えない」こと、そして「突然、事故でわが子を失われた親御さんはどんなにつらいだらう」ということをおっしゃいました。「正しい生き方」「後悔しない生き方」を教えていただいたような気がしています。

移動教室に行ってきました！

5月20日から3日間、5・6年生は弓ヶ浜クラブ（静岡県南伊豆町）に移動教室に行ってきました。下田海中水族館でのイルカショー・アシカショー、貴重なバックヤード見学。驚くほどの生き物と出会った磯観察。班で協力して大作を創り上げたサンドアート。動物と近くで触れ合った、シャボテン公園。そして、のまれそうなほど大きな波音の中で見上げた星空、友達と過ごす部屋での時間・・・思い出は数えきれません。そんな5年生の心の動きを、短歌・俳句で紹介します。

5年1組



- ・雲とぎれ よく見えてきた 空の中 一番目立つ 北斗七星
- ・日がくれて 星がかがやく 弓ヶ浜
- ・温泉は 海を感じる 塩の味
- ・ねむれない 夜にはイルカ 数えたよ



- ・また見たい 海のかがやき 弓ヶ浜
- ・弓ヶ浜 心が動く 波の音
- ・水面に 星空うつる 夜の海
- ・波の声 かがやく音は 弓ヶ浜

下田海中水族館

- ・友達と 話はずみ まふたが落ちぬ しらぬ間に 夜はふけていく
- ・弓ヶ浜 海のけしきを ひとりじめ
- ・夜の海 朝とはちがう 波の音
- ・すな動き 探してみれば カニがいる
- ・夜の伊豆 虫の鳴き声 波の音



フォトフレーム作り



進んで片付けを
してくれた6年生

磯観察



さつき

- ・伊豆五月 うつくしかな 夜の浜は 澄んだ波音 もれ出ずる月
- ・満天に 星がまたたく 夜の空
- ・弓ヶ浜 走り続ける すなの上 波音きこえ 風かがやけり
- ・弓形の 浜で作った ウミガメは 乗ってもこわれぬ 努力賞
- ・磯観察 石をあけると 動く土



サンドアート

- ・暗い夜に 月の明かりで 見える浜 弓の形に そる海と砂
- ・潮の音 静かにきくと 大きくて 風がにおいを ひろってくるね
- ・水くんだ そのしゅん間に ずぼんぬれ
- ・なみのおと あさひがのぼる 弓ヶ浜
- ・夜の部屋 あまり寝られず 時すぎぬ 時計のはりの 音だけひびく
- ・弓ヶ浜 朝のマラソン 風なびき 潮のにおいが かがやいている
- ・夜の浜 月の明かりが 海照らす かがやく海や うつくしかな
- ・ゆみがはま きれいな海と タぐれや
- ・ふとみると 光かがやく 青い海

5年2組

朝の弓ヶ浜ランニング



- ・空見ると 遠い星達 かがやくよ
- ・興奮し 消灯時間 まもれない
- ・遠のいた 雨の憂いに 陽がのぼる
- ・弓ヶ浜 光かがやく 砂浜に 耳をすませば 風の歌声
- ・ふと見ると 夜空にうかぶ 光る砂
- ・弓ヶ浜 夜の浜見れば 星広げ 北斗七星 発見だ
- ・砂浜で 夜に聞こえた 波の音
- ・逢の浜 磯観察で 貝をとる

- ・時の針 進むばかりと 止まらない みんなという時 ひっそりすぎる
- ・サボテンの アイスクリーム めずらしい
- ・夜の浜 耳をすませば 波の音
- ・宿の夜 夏の夜みたいに あつかった
- ・星空を 見上げていたら くびいたい
- ・弓ヶ浜 海がきれいだ いいとこだ
- ・目をつぶり 耳をすますと 波の音
- ・見上げれば 星空見えたよ かがやいて
- ・イルカがね ボールめがけて ジャンプする ボールの位置は まるで二階だ
- ・弓ヶ浜 きれいな波が うちよせて 大波小波 かがやいている
- ・弓ヶ浜 夜も昼間も 波の音 かがやく音が 忘れられない



伊豆シャボテン公園



- ・見上げたら かすかに星が 光ってる
- ・満天の 星かがやく 夜の海 耳をすませば 波のささやき
- ・星空に 光かがやく 北極星
- ・弓ヶ浜 なつやすみにも 行きたいな
- ・空見ると かがやく星が 目立ってる
- ・星空は さそり座のこと てらす中 赤色の星 心ぞう灯す
- ・イルカさん なんでこんなに 飛べるのか
- ・チンパンジー 顔面なぐる ガラスごし 動物いっぱい シャボテン公園
- ・弓ヶ浜 雲うなり 青空だ



学校評議員のご紹介

今年度、杉並区教育委員会より委嘱を受け、井荻小学校の学校評議員を担当して下さる皆様が決まりましたので、ご紹介いたします。

清水 汎	井荻三丁目町会会長	岩淵 晴子	元青少年委員
	震災救援所所長		学校支援本部事務局長
田邊 紀行	上井草青少年育成委員会副会長	澤地 さちえ	地域協力者
猪鼻 徳寿	地元商店会会長	高橋 裕美	地域協力者
山中 由也	早稲田大学教授	中谷 理彩子	青少年委員
二村 好彦	元PTA会長	稲富 太志	地域協力者
	(井荻小野球部監督)	清野 美貴男	PTA会長
鹿取 愛弓	主任児童委員		(敬称略)

一年間の任期で、地域に開かれた学校づくりの推進と本校児童の健やかな成長を見守っていただきます。よろしくお願ひします。

7月行事予定

1	月	委員会活動
2	火	お話し会 荻中生による読み聞かせ 13:05～
3	水	お話し会 小中合同研修会（4時間授業） SC来校（※SC…スクールカウンセラー）
4	木	都学力調査5年 SC
5	金	いおぎまつり（2, 3, 4校時公開） 保護者会（1・2・3年）
6	土	井荻夏まつり（PTA）チャレンジキッズ
7	日	
8	月	クラブ活動 善福寺川観察5年
9	火	保護者会（4・5・6年）
10	水	学校評議委員会・学校保健委員会・SC
11	木	SC
12	金	
13	土	囲碁 マナーキッズテニス お琴 生け花
14	日	
15	月	海の日
16	火	
17	水	SC
18	木	口腔歯科衛生指導（3年）給食終了SC
19	金	終業式 大掃除（12:15頃下校）
20	土	
21	日	
22	月	夏季休業日始 夏季水泳指導前期始 夏季学習教室始 個人面談始
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	夏季水泳指導前期終 夏季学習教室終 個人面談終

7月の生活目標

整理整頓と掃除で心も ピカピカにしよう！

生活指導部 大沼 文恵

掃除の時間に、子どもが、「先生見て、こんなに雑巾が真っ黒！」と額に汗をかきながら、雑巾を見せに来ました。また、友達と声をかけながら「1, 2, 1, 2」とリズムに合わせて楽しそうに机を運んでいました。教室をきれいにしようと一生懸命な姿を見ると、嬉しくなります。きちんと掃除された黒板に字を書くと、子どもたちの字も丁寧です。きれいに掃除した教室、整頓された机での学習は、やはり気持ちがよく、授業に集中できます。それは掃除をしながら心もピカピカに磨かれているからだと思います。

教室だけでなく、自分の持ち物も整理整頓します。たとえば、筆箱は毎日使うものです。使ったものはきれいに戻し、家に帰ったら鉛筆を削る。これが一日の終わりにできると、心もピカピカになり、明日のやる気につながるでしょう。

いおぎまつりへのお誘い

7月5日（金）は、きょうだい学年ごとにお店を出す、「いおぎまつり」が開催されます。

6年と1年、5年と3年、4年と2年がペア学年となり、上級生は下級生のことを考え、下級生は上級生を頼りにしながらお店の準備を進めています。

子どもたちの張り切った姿をぜひご覧ください。お待ちしております。

※夏季休業中（7月中）に個人面談があります。

後日、担任からプリントが配布されます。

ご確認ください。